

第3回湘南港ヨットハウス（管理事務所）新築に関する連絡調整会議

日時：平成22年6月5日（土）10：00～12：00

場所：女性センター1F多目的室（中）

【司会：藤沢土木事務所なぎさ港湾課】

第3回湘南港ヨットハウス（管理事務所）新築に関する施設利用者連絡協議会を始めたいと思います。私司会をやらせて頂きます、藤沢土木事務所なぎさ港湾課〇〇です。よろしくお願ひいたします。まず資料の確認をさせていただきます。まず次第と湘南港鳥瞰図の写真と資料2としまして調整会議における主なご意見2-1、2-2、2-2-2、2-3と4枚あると思います。設計者の方から資料3のつづりが7枚あると思います。皆さんありますでしょうか。なければ申し出て下さい。この会議の内容はホームページ等で公開させていただきます。今出席されている方は管理事務所内にも公告しましたが、施設利用者代表ということで各施設の方に推薦してもらった方に出席してもらっています。事務局を代表して藤沢土木事務所なぎさ港湾課長から挨拶させていただきます。

【事務局：藤沢土木事務所なぎさ港湾課長】

みなさんおはようございます。ただいま紹介ありましたなぎさ港湾課長でございます。

本来、所長あるいは部長がきて挨拶するところでございますが、所用ということで私の方からご挨拶させていただきます。利用者会議は、3回目でございます。その前に2回、利用者全員の皆様に対する会議をしておりまして、併せて5回目となります。その間、皆様方のご意見を伺い、意見箱等でご意見を伺いながら進めてきたところでございます。今回、設計者の方で模型・意見書を用意してございます。今後に向けて説明しながら皆様の意見交換ということで進めていきたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。

【司会】

ありがとうございます。議事に入りたいと思ひます。今までの意見交換会・連絡協議会で、出ました意見と対応につきまして資料2-1、2-2、2-2-2、2-3であがっています。2-3につきましてはヨットハウスの管理事務所前に意見箱を置きまして意見をみなさんから頂戴いたしました。これは前々回までの時までは出ていましたけれども年が明けてからは、出ていませんので前回の内容と変わっておりませんのでこれは省略させていただきます。第1回、第2回に全体の意見交換会を行いました。それに関する対応状況につきましては、ヨットハウスに関するご意見を2-2に管理運営関係を2-2-2にまとめています。それにつきましても前々回から2回ほ

ど説明していますので各自でご確認お願いいたします。

それでは、2-1で、前々回の12月5日と前回の1月9日の第2回調整会議に出たご意見につきまして説明させていただきます。第1回の12月5日にでましたものについては1月に説明しましたので簡略化していきたいと思えます。まずこの利用者調整会議ですが、参加団体の事前交渉でいわれましたことを報告という形とコアメンバーでやりましょうという事になりましたので、この組織に対して紹介させてもらっています。2行目のヨットハウスの2階と船具倉庫屋上の渡り廊下の設置ということですが、小田急クラブさんを含め他の大会艇の出入口になっていますので、困難ということになります。次にヨットハウスと船具庫の間の通路の変更、これは旧ヨットハウスが壊された後の活用の中で考えていきたいと思えます。その中には小田急クラブさんの出入り口の変更などいろいろ問題があると思えますけれども、これから調整していきたいと思えます。

トレーニングセンターの整備につきましては、今藤沢市の体育館などいろいろあると思えますので、それを使ってもらい、他の方法が何かありましたら発表してもらいたいと思えます。宿泊施設の設置、これにつきましてはかながわ女性センターを使ってください。女性センター施設を使用しなくとも泊まれるようになりました。今回も身障者大会などにも使われました。女性センターの3階に宿泊施設がありますのでここを利用して下さい。メインエントランスでヨット展示と映像、これにつきましてはこれから検討していきたいと思えます。

監視塔から海が見えない。これは前回も申しましたが、今の監視塔を使い、新ヨットハウスには監視塔を無くした設計としました。

ロッカー・シャワーについて男女規模を同じにすべきじゃないかという意見、これは、男女比は今7：3でやっております。いろいろ意見を頂戴していますのでこれから調整していきたいと思えます。

ロッカー・シャワーの無料化、清潔なパウダールーム設置、ミーティングルームをパーティーションで仕切ってほしい。これにつきましてもこれから実施設計等で検討していきたいと思えます。

1階倉庫を船具庫に、警察を入り口側に、2階のミーティングルームを1階におろしたらどうか。これにつきましては、前回も示しましたがけれども修正いたしました。

いろいろ注文がありましたので、この後、設計者の方から説明してもらいたいと思えます。

大会議室の外側のテラスと一体に使いたい。これにつきましても修正いたしましたので後で説明してもらいます。

警察は入口駐車場近くでいいのではないか。これも対応いたします。  
駐車場5台は好立地なのでもっと有効活用したらどうか。これは最小限5台と考えております・。  
国際VHFが来年から緩和され、普及すると思うがキャッチする場所がない。現在の監視塔の補強を検討していますので、その中で活用を検討します。  
ロッカールーム・シャワールームの動線が悪い。修正した計画を後ほど説明します。第2回の調整会議で出たものなのですが、ミーティングルームとCDEはディンギーヨット保管地の近くがよい。対応します。ミーティングルームに給湯施設が欲しい。全館放送施設がほしい。2階に給湯施設がほしい。この3つにつきましては、対応します。警察と港湾現場管理室を内線で通話できるようにしてもほしい。実施設計の中で検討していきます。警察は外部通路に面した場所がよい。これは設計出来ていますので後で説明してもらいます。現在の監視塔はヨットレース全体を把握できるため残して欲しい。検討します。決定し今年度できればいいと思っています。ロッカーを大きくしてほしい。今後検討します。外部階段の位置をよく検討してほしい。これを検討した結果を後ほど設計者の方から説明します。  
以上が前々回と前回の意見と対応状況です。以上です。  
それでは、今対応状況にありましたけれども、主に2階のヨットハウスについて設計者から説明してもらいます。  
よろしく申し上げます

#### 【設計者】

おはようございます。設計を担当しております。〇〇でございます。去年の12月の第1回の会議、正月早々の第2回の会議の協議を受けて県からの依頼の基本設計を終わらせました。が、しかし、ヨットハウスの2階のあり方等については議論がまだ十分にされておられませんので、今日はそこを大きな課題にしていこうと。それからもうひとつ設計の中に含まれておりませんが、前回お約束していました船具ロッカーにつきまして、お手元にペーパーで案がついていると思います。それも含め船具ロッカーとヨットハウスの繋がりというのは、非常に重要なテーマですので今日は、皆さんの忌憚のない意見を伺いたいと思います。

また、建物の設計というものは、プランだけでなく建築の全体のイメージ・デザイン、あるいは、江の島の場合には特別景観風致地区という条例が全島にかかっておりますので、それに対して江の島の景観にふさわしいデザインかどうか、藤沢市の中に景観審議会がございまして、そこでのチェックもございます。そういったハードルを越えながら実現していかなければならないと言うのが設計者に課せられた課題です。それはそれで我々は全力でや

っていかなければならないが、今回昨年夏と10月に利用者の方の意見を徴集するという全国でもまれなヨットをやる人たちが参加しながら計画ができるという、そういうチャンスが得られたということは、我々にとって40数年江の島にお世話になっている我々としても幸せなことだと思います。議論につきましてはできるだけ建設的にみんなで県も利用者もいっしょになって新しいヨットハウスをつくるのだと言うことをまず理解していただいて会議を進めて聞きたい。

お手元の資料の1ページ目にあるのが、女性センターのロータリーの前のあたりから見た新しい建物の景観のイメージ図です。現在こちらに飾ってある模型と形が違っておりますが、これはまだデジタル化される前のイメージで模型を作ったものです。その後この数ヶ月かけてこれに具体的な数字におととしていきまして、構造の力学で解析いたしまして、あるいは屋根の雨水の問題、みんなにとって威圧感のない、親しみのもてる新しいデザインとは何かという事で模索しているのが現在の図です。イメージパースと若干異なっておりますが基本的な考え方としましては、この前面道路に面したできるだけ開かれたイメージ。特に斜めに入ってくるプロムナードとの間の所は、一般の方も利用しますので、そういう人にとっても親しみの持てる場所にしていきたい。今ロータリーは女性センターの前が緑に囲われ覆われて過ぎて夜になると真っ暗である事、或いはヨットハウスのレストランが非常に遠くにあるために、ロータリーから奥へは、一般の人が行くチャンスがなかなかなかったのですが、これができる事によって多くの人にとってもっと奥に行ってみようという、皆さんを招くようなイメージです。もうひとつは、今の建物は、鎌倉高校の前からみますと非常に三角の屋根がシンボリックに建っていて島の影とは別に独立した形であります。しかし今度の敷地は、もっと西によってしまうために鎌倉・腰越方向側から見ますとちょうど島の影になってしまう。その辺が消失してしまったヨットハウスに対する思い出との兼ね合いを受け入れてもらうにはどうすればいいか。いろいろ考えました。そのひとつのヒントとしては北の海に晴れた日に船で出かれますと逆光で波目がきらきら輝きます。そういう風なものにより建物が真っ暗になるのではなく、屋根の方から光が見えてきたらきれいじゃないかなということなどを1つのイメージの根拠にしまして若い人たちが中心にしてデザインしました。

前面道路に対してセンタープロムナードがななめに、そのその形に添うようにして、そのところがいわゆる一般の方に開かれた場所のイメージです。メインのエントランスにつきましては現在と同じようにやしの木を抜かないような形でもってロータリーをつけてエントランスとしました。しかし、センタープロムナードから自由に出入りが出来ます。ここは2階から通り抜け

吹き抜けた空間になっておりまして、この先がヨット利用者のゾーンと考えています。

ヨットを利用されない方に関しましては、こちらが管理事務所になりますのでここで意識的にカットしました。パークさんと同じ管理事務所にしました。

ヨット利用者ゾーンの通路を抜ける事によって後で出てくる船具ロッカーがあります。廊下を中心にしまして、この南側にはロッカーとシャワーあるいはトイレ等のウェットスペースがあります。この辺の使い勝手につきましては、1回2回と先ほどから出ているロッカーとシャワールームは廊下を介さない方がということで現在このように修正してあります。

先ほど出てきた水上警察につきましては、裏からも直接出入りできる案にしてあります。

ここから上の部分は、大会運営あるいはクラブ含め、事務所を含めた形での全体運営の場所として考えています。先ほど出てきました小さなミーティングルームCDEの運営室は、南東のディンギーヨット保管場所の近くに考えています。基本計画では2階にありました中会議室を1階に下ろしてきております。それは会議の中で、やはり1週間にわたる大きな大会の時に運営本部が今のように2階にあったりすると実際スタッフが上に行ったり下に行ったり大変なので、ここで一体的に利用できるようなことをという提案がございまして、現在このようにしました。

この絵柄としては、一応スクールタイプというような配置になっておりますが、実際にこのような使い方をするのか。あるいはこれを2つ・3つに分けてほしいという声もありますので、それらについても後ほどお聞かせ下さい。また、この運営室につきましても、ありかたについてももう少し議論を深めていきたい。

前回この辺にプロパンとかいろいろたくさんあったが、設備と打ち合わせをやる中で、2階の所にスペースを取れましたので、邪魔な物は2階に上がってこの辺はスッキリしました。

セキュリティに関しては、こちらで現在プロムナードが夕方になると入り口が閉鎖になって入れない。この案ではこの道に対して賑わいを作ると言う事でここにセキュリティを設定しております。夜になるとここで閉鎖され後は建物でブロックされて、ここから上は入れないと言うことになっています。ここで閉鎖して欲しいという意見もありますので後で議論してください。

この案では閉鎖ラインについては後ほど議論していただきたい。この部分に関しては、先ほどから開かれたセンタープロムナードという形態をとっています。開かれたというのは、サザエ島やセンタープロムナードに来た人々にとっても利用が出来、自由に入れるということです。この突端部分に軽食喫

茶、その隣にマリングッズ、葉山マリーナのように海に来た証としてのおみやげを買える店の構成を考えました。〇〇さんからディングーヨット置き場や立体的映像があったらいいなと意見が出ておりますので、これらについてはこれからソフトを含めて考えていきたいなあと考えております。

これは、今日の議題となります2階です。1階に居室をおろしてしまったので、2階に大きな外部テラスが出来ております。先日行われたノルウェーのパーティーでも現在の大会議室では入りきれない。

実際、飲食が始まるとほとんど座るところが無く、ほとんどの方が外のテラスで交流が図られていた。船具ロッカーが無くなって、現在のようにテラスが広く確保できない。だいぶ広くなったがまだまだである。これから出てきます船具ロッカーの屋上と一体利用について小田急さんとの問題で出来る可能性を残しながらこの案を進めています。考え方としましては、1階の所から来た人含めて階段を上ってきた人が見る県への説明としては、いわゆる「ハーバービューテラス」として外階段からも一般の人も上げられる場所としてあります。

それらを含めセンターにここでは大会議室という名称を残していますが、300人程度は入れるスペースを確保しています。さきほど建物のデザインでテラスを全面的に覆うようにして全面的に屋根を配しています。それは夏の利用とかあるいは冬のクリスマスに寒い思いをしていますので、今回は、屋外全体に対してもおおうように構成を考えています。それは建物の設計コンセプトとしまして21世紀の建物は、都会に建っているような、いわゆる高气密高断熱の設計でなく、昔の建物のようにひさしを深くして、江の島のこの場所につきましては、5月過ぎますとシーブリーズが必ず入ってきますので、後ほどちょうど建物全体が暑くなる時に南西210度方向から風をキャッチしながらこの二階のテラス含めて全体の風通しが良い様に構成としてもくろんでいます。大きな屋根をかけると田舎屋のように真っ暗になってしまう。今回は、屋根の形がウェーブを描いて大きなスリットがあり、北側から採光ができる。北側採光は南でなく、安定した採光が良い。一部スリットが出来ている。夏の暑い時には、風が上に抜けていくように浮力換気できるようになっている。暖まると上にたまる熱を抜き、テラスで快適な夏が過ごせるよう気象とかを考えました。多少眉唾になるが、場所的に島影になるので午後の3時頃から西日が射さないと想定していますが、きっちり今年精査して検討します。やはり西日が入ってくるようであれば日よけを作ります。けっしてできあがった形ばかりで、暑くしょうがないことはしない空間を確保したいというのが建築設計のコンセプトです。仕切とかを今日の議題にしたいと思えます。

オリンピックメモリアルルームがあります。県の計画の中でもノルウェー含

めVIPの人が休める所としています。言ってみれば、現在江の島ヨットクラブのクラブルームぐらいの大きさの位置づけで考えてありますが、これも閉鎖するのか開放するのかこれから議論していただきたい。

前回は、ここに計画していましたがここに移しました。図面にはないのですが、パントリーとして給湯設備を用意しました。またトイレを用意しました。

構造的には、トイレと先ほど言いました機械室をサポートする屋外室でここに地震を受けるための壁的な存在になっている。

中柱は、実は18センチ程度で、細く視界をさまたげない。かつては大会議室の大きなスペース少人数でも居心地がいいスペースになる。出来るだけ部屋の真ん中に柱がでない設計。今回は、大人数でも少人数でもどこでも居心地のいい、できるだけ真ん中に柱を置かない設計にしています。ここにあるのは、空調の機械の噴出し、夏については、コンセプトとしては、通風を前提にしています。屋根に断熱材を利用することにより、通常の体育館より良いものを使用しているので上から熱が降りてくることはない。通風の利用を前提にしていますが、たまに暑さ対策。暑いでしょう空調を入れたらと言うことで計画しました。現在の会議室にはありません。出冷暖房完備としました。ただ大会議室と言う名前になると公共建築の仕様として手元の明るさで500ルクスはだめで700ルクスにしなければなりません。どんどん世の中パブリックの部屋は、明るくなっていく。この建物の主要目的は、会議なのか交流の場にするのか皆さんしっかり決めてほしい。それにより大きく変化する。もちろん昇降機をつければ、明るく出来るという議論もあるが、その辺大会議室の仕切りをどうするかコンセプトの議論をお願いします。部分で使った場合どうするか、はっきり仕切るのか、それともヨットやる人は親しいのだからローパーテーションで場所をいくつか用意すればよいのではないですかとなるのか。1階の運営室とともに、この部屋の使い勝手を議論してください。

大会議室として設計すると照明等の決まりがあるので、この部屋をどうするのか考えていきたいと思えます。先ほどの1階の運営室と併せてこの部屋の使い勝手について考え方について本日考えていってください。後はエレベーションが建築では出てきます。1階の足下を違和感のない構成にしようと思えます。変わってきている。

これが断面図です。どこにいても設備的なものも踏まえてあるいは設備的なものも含めて、立ち飲みバーみたいな雰囲気となる。この辺について皆さんに議論してもらいたい。これが今日現在の模型を写真に撮ったものです。これはプロムナード側から見ています。運営室側デングキ<sup>デングキ</sup>置き場側から見ています。日よけになっています。これはロータリー側から見ています。これは内部を上

からみていますが、1階からガラスのエレベータになって、その横を階段がありギャラリーへ続く。

それを反対側から見ています。先ほど言いました設備が入っている邪魔にならない程度で違和感のないものをデザイン的には、考えている。屋根の上の穴があちこちから見えています。現実的にはスケールの大き過ぎない物の構成をねらっており、布を掛けたふわふわした半屋外的な雰囲気なものが出たら良いかなあと考えています。

ついでに話します。本体に対して、船具ロッカーがあります。現在のヨットハウスのテラスを壊さなくてギリギリ18m\*36mとれます。ロッカーがどのくらいはいるか検討したのがこの計画図です。

それに対し現在の船具ロッカー(18m\*36m)を調査しますと、Aタイプ・Eタイプは、非常に利用率が高い。Aタイプは、長さが2700に対して2つ割にして3段で積みです。Eタイプのロッカーはそれとは逆に4段積みで間口は同じだが、高さが足りない。あとCとかいろいろあるが、常に利用率が高いのでAとEそれを中心に配置した。その他、提案としてあるのが、外部からセールロッカーというのをご提案させていただきました。奥行きは、900ぐらいで前から見ると高さ的に3段が精一杯かな、幅700で高さを2100で足下を含め2200にし、長さが4mのセールロッカーを提案しました。

これらについてAタイプを中心にしたらよいのか、もっと大きいのがよいのか今日皆さんの意見を聞かせてもらいたい。ロッカーの寸法を船具ロッカーですから納めなければならない。

A・Eタイプが448個、B・Cタイプで169個、セールロッカー12個で、現在この計画に配置し、あと倉庫を80m<sup>2</sup>計画してあります。これが今日の議論の原案になります。長くなりましたがこれで以上です。

#### 【司会】

どうもありがとうございました。それでは、設計及び対応状況等につきまして自由に意見交換をしたいと思えます。

これからはなぎさ港湾課長に進行してもらいます。

#### 【司会】

意見交換という形でおもに模型および手持ちの資料を見ながら、主に2階と船具庫の原案については3階建てを外に出しました。監視塔については補強し今年度はひっばってきたい。

大会議室の事、船具ロッカーの大きさ等、利用者の方の雑駁な意見をお願いします。発言時には手を上げて、名前だけお願いします。

#### 【EYC】

EYCの〇〇です。何回か参加させてもらっていますが、たくさん皆さんの意見吸い上げてもらいましたので、ただのビルから変えていただきありがとうございます。2階の大会議室について、利用の仕方をふくめて考えていただきたい。レースの後のパーティーなどノルウェー大使の方とか招いたレース後のパーティーで大会議室を使わせていただいているが、会費制になっていまして、オープンスペースという扱いになると、これを占有していいのかという問題がある。しかしながら開かれた施設でなく会議室として閉鎖した状態でいいのかというのはいつも思っていました。パーティーなどで区切って有料で貸し出しができるとうれしい。今オープンでクルーザーヤードの所に現在無料で使える建家のスペースがあるが、一般の方が入れる時は使えないことになっていまして、そこでパーティーするのは、門が閉まってからしか出来ない。オープンという事になると厄介な事になってせっかくの場所で一般の方からオープンなのになんで占有することになるのだということになる。その辺も含めて考えていただきたい。

前回ここにパーティーをやる場合に水場をお願いしていたのですが、それが消えてしまっているのですが。

#### 【設計者】

トイレの前がウォーターセクションになっています。文字が抜けていてすみませんでした。

#### 【EYC】

テーブルがいくつか置いてあるのですが、収納場所が必要かと思います。オリンピックメモリアルルームなのですが、オープンにしまうと管理も大変かと思うのと、今会議室とか利用する部屋は抽選になっているので肝心な時に他にとられて使えないのでは意味がないかと思いますので、その辺も含めてよろしくをお願いします。

#### 【司会】

会議室の仕切り方、パーティーのあり方についてですね。会議室は、有料でとなると思う。水場はよいですね。いす、テーブルの収納場所についてはこの中でこれから検討出来ると思います。メモリアルルームについては、記念物配置で残すか、とか普段の扱いになります。また、有料・無料についても運用にかかわる事だと思うので、今後考えていく事が出来るかと思います。いずれにしても有料無料は、専属しようとなると有料になると思う。

#### 【クルーザー利用者の会】

今ある船具ロッカーとここの新しい船具ロッカーの比較ですが、面積としては、

現状を確保できているのか。

【設計者】

現在の船具ロッカーは太い柱があちこちにあって、配列が不規則な迷路となっているが、現案は、最初にロッカーの配置ありきで、考えていきたい。現在のデックスがオリンピックの時に言われた寸法がそのまま、クルーザーの方が、今は一人で2・3個使っている人もいる。今のAロッカーを中心考えるのか、もう一つ上のロッカーが良いのか、いろいろな大きさのロッカーがあった方がいいのか。提案し、議論していただきたい。

(CR利用者)

数がとれるかどうか？今の利用者数に間に合うだけのスペースがとれるのか。

(設計者)

今の出言うとAロッカーが90パーセント、E・Cロッカーが空いている状態。逆にAロッカーを一人で複数借りている状況。大学やクルーザー系の人です。面積的には現在のロッカーと同じです。総合的にその中をどう使うかが、提案になります。

(CR利用者)

足りるということですか？小さくはならないのですね。

(設計者)

議題についてとりあえず2階をどうするかに絞って、お願いします。

(EYC)

江の島ヨットクラブの〇〇です。2階の大会議室は、夏のシーズンになるとけっこう利用者が多くて抽選になるので、将来的にヨットハーバーの会議室なのだからヨット関係者の利用に限るとはっきりと方向を定めていただかないと公共施設だから誰でも使えるという事はないと思う。マリン関係に限定したほうがよい。大会議室ではなく、いい場所であるのでコミュニティーホールとして会議室を使っていない場合は誰でも使ってよい。しかし、コミュニティーホールだけでも会議室としても使える、というのがいい。会議室として使う場合もマリン関係に限るとはっきりしてほしい。ホール自体がイメージとして我々に親しみがあつた場所となると思いますので、検討下さい。

(藤沢市ヨット協会 )

大会議室について、昨年国際レースの計画をしなければならないが、

半年一年先のレースのプランニングができなくなっている。その時会議室を押さえられないとレースが出来ない。ついこないださみしかった。国際レースが出来なかった。計画的に活動をフォローする運用になってない。運用の問題であるが、開かれたコミュニティーもいいが、大きなヨットハーバーのコンセプトにあった事業は大優先で1年前からでも予約できるようにしてほしい。開かれた今窓口が混乱している。あんまり良い雰囲気でない。指定管理者の窓口の問題ではない。このヨットハーバーのコンセプトが、前から言っているが、どこにターゲットがおいてあるのか。メモリアルでない現在も生きている。大きな国際大会のバックアップができないのは情けない。ヨットハーバーの活動の奨励フォローアップをしていきたい。現場で必要である。そういうものがすぐ出来ない。教育施設の役割を見失わないでほしい。ハーバーの窓口が混乱している。これは、指定管理者の窓口の問題ではない。県に聞いておいてほしいが、ヨットハーバーのコンセプトはどこにあるのか。県にはスペースの管理だけでなく目標の管理もしてほしい。フォローアップするハーバーの魅力を増さないと人は来ない。

国際大会が出来ない。世界の優秀選手を呼んできてモチベーションが上がるのに、予約が出来ない。

ヨットハーバーを参考に八景島とベイサイドといわれたので、和歌山に行って来ました写真を撮ってきましたので渡しておきます。今言ったヨットハーバーの支援するグッズを撮ってきた。練習環境をフォローアップしていました。

そういう面でもう一度元がはっきりしていないと、おおかたいろいろ細かいことが良くなってきているが、なかなか取れなくてこのハーバーは何を目指したか見失う。大きな事業について、運営管理者公営ハーバーとしてスペースの管理と目標の管理していかなければならない。つまり何を目ざしたのか、運営の中で必要と思う。流れの中で見失い、機能しない。公共プラスNPOでやらなければならない。

土木事務所の中での管理の話ではすまないことなのでしっかり押さえたうえで流れを持って行かないと機能しない。

(設計者)

公共と公平性、開かれたハーバー、それは分かるが、その前に、ここはヨットハーバーなのだというコンセプトは忘れないでほしい。ヨットハーバーで何をやろうとしているのか、レベルアップとかいろいろあるのではないか、それと開かれた公平性とを混ぜこぜにするから大規模大会が喪失した場面が出てしまった。運営方法をもっとよく考えようという提案ですね。

(県ヨット連盟)

今県のヨット連盟として今年まで海面利用調整会議を20年前から3月はじめにやっているが、実際に海面が決まっても会議室が予約できなくて使えないなど問題が起きている。県連から近いうちに県知事にもう一度陳情しようと思うが、大会の運営とヨットハーバーの利用の仕方を3月にでも1年間分を調整して、海面とともに会議室はその時点で優先的に大会にあわせて割り当てて決めてもらうような、大会自体を行うことや大事なスクールをやるとき1ヶ月前とかでなく年間通して決めて欲しい。利用者だけでなく皆で決めてほしい。利用する側だけでなく指定管理者も含めて調整会議でルールを変えてもらう、この問題で湘南港でのヨットハーバーへの利用の不満が最近ふえている。藤沢土木やなぎさパークを含めて調整してもらって、来年の春条例を変えてもらって、利用者と貸す方の早く話し合いをしてほしい。やれる方法とともに2階もある程度パーテーションで仕切るなりして今までと同じようにある程度有料で使うようにせざるを得ないのではないか。今と同じように、平日の2階は閉まっているが、これからどの程度オープンにするか、検討してもらえないかな。今の問題点は早く解決してもらって、せつかく新しいものを作ってもらうのに十分に活用されないともったいない。県連としても県にお願いしていく。

(設計者)

今の県連さんの意見だと、仕切はある。一般で言えば休憩棟みたいに全体で使える仕掛けみたいな知恵を出してほしい。屋根がこの形なので仕切るだけでよい。紳士的にオフリミットですよとしてほしい。

(E Y C)

早くから女性センターの方を開放してもらっても、それも会議室と同じで抽選でとれないというのがほとんどで、民宿などもすぐいっぱい、パールレースを開催しても宿泊施設がとれずにロビーで仮眠するような事になっているので、出来れば女性センターの宿泊施設も前から予約できるようにしてほしい。一緒に考えてほしい。

(司会 )

どうすればよいのか、今後運用の中で考えたい。大会議室と打ち出したが、会議室のイメージが強いのか、交流の場とするのか排他独占するのか、議論すすめてほしい。排他独占的だと有料となる。

大会議室と打ち出したのだけれど、交流の場の方が強いのか、上からかつるすのか下からか。

(E Y C)

会議室として今機能していないから、積極的に交流の場としてただ会議室としての利用できる場としても使えるように、景観2階を大きく利用するという風

に考えると会議室という概念はすこしよけておいた方が考えやすい。コミュニティー広場だけだ会議室としても使えろと考えたらどうか。

( 設計者 )

1階にも50, 60人の会議室があるが、今までそれを超える規模で会議した事はない。レース運営として上2階も必要だということ。今言っているのは会議室という名前をはずすかかどうか。それによって設計の仕様がかわる。会議室の名前が残ると、消防の問題等からむるので、こういう案にシフトした方がいいのではないかと県の営繕からも提案として言われている。それで異議なしというのであればそうします。

( E Y C )

会議室になると今のコンビニみたいな明るいライトになるということですよ。

( 設計者 )

はい。

( 管理者 )

管理者の立場で言わせてもらおうと、先ほどの県連のお話は私どももこちらから望んでいる事でございまして、海面調整会議をせっかくやるのだから大きな会議を中心に先行して予約を受け付けて行きたいと、2年前に着任した時に藤沢土木事務所許認可の方に提案させていただきましたが、ところがその後お返事を頂いておりません。今日、初めて回答をいただきました。その時の回答としては、どれを優先させるのかその判断がつかないから優先順位をつけられないからとうことでした。今提案がありました利用者調整会議で、こういう施設ですから施設利用者優先というのは全く問題なからうと思えます。単に我々の指定管理者として県・藤沢土木から言われているのは、国又は県・市の公共的な利用は優先して先でも確保しなさい。といわれていますのでそれと同様に、今言っていた会議も同様にした方がよいのではないかと。先ほどの会議もあったので、ご提案は非常にありがたい。8時25分まで待っていたが、こなかったのでつい決めたが、8時30分に来ておかしいではないかとなった。実態としてパールレースが予定されたら、このようなレースが入っていますよとって遠慮してくださいということで、先ほどの提案は、ありがたいことです。外から紹介があれば、大きな大会がありますよと言える。

(管理者)

管理者の〇〇です。会議室の利用に関しては、何でもかんでも先着順というのはおかしいと思っています。

( 設計者)

たとえば海面調整会議でいくつかのレースが重なったというときは、なにかプライオリティーはあるのか。

( 県連)

せっかく海面調整会議を長く行っているのだから、あの会議をもうちょっと位置づけをして、なぎさパークの管理者としての指導力で一年を通じて大会や会議の日程を決めてくれると、互いに楽だし、利用する側も助かる。利用する側も安心する。臨時も撮っておけば、うまくいくはずである。来春から具体的に県を含めて話し合いをしてそのようにしていただきたい。

今調整も出来ているからテスト的にやってほしい。

県連や市の協会も出ているので調整させていただきたい。

(司会)

運営の話はいろいろあるが、2階の話に戻ります。2階の会議室・ロビーライブラリー等について話をお願いします。

(E Y C)

先ほどシャワールームとトイレが比率でつくられているとのことですが、いつでも並んでいるのは女性のトイレとシャワールームで、どの大会でも男性の方はほとんど並んでいることはありません。どうしてそこまで男性の数を考えるのか。女性は男性のようにはいかない。今朝も2つしかないが、女性のトイレは並んでいました。人数比だけで決めてほしくない。もう一度検討をお願いします。

(司会)

検討致します。

(県連)

工事している間に、外側のトイレはそのまま残るのですか？

(司会)

工事のやり方としては、あらかじめさっきいった説明をするつもりです。今年度22年度としては、詳細設計を決めて、それと同時に予定通りだとたぶん23

年24年が主な工事をやる時期、ただしこの時期は現在の建物はこのままです。現在の業務は今ある建物で行ってその横で工事をする。資料1の方で簡単に位置関係を赤いマークで出してありますが、工事期間は現在の建物はそのままで進めます。

後はどうですか？ 2階を先に議論してもらいます。次に船具庫に移りたい。

(県連)

先ほど二階の会議室の名前を変えるという話が出ていましたが、どうですか？

(設計者 )

大会議室という名前で基本計画、基本設計まで来たのですが、会議室という名前を残してしまうと県の設計の仕様書にあったような設計内容にしなければいけなくなるので、むしろ現在も交流施設として使っているなら名称を変更したほうがいいのではないかと県の営繕の方から提案されているので、いかがですかという提案です。

(県連)

2階の場合レース運営に使う数とパーティーに使う数と半分半分くらいでしょ。

(E Y C)

パーティーも大会運営でしょ。

(市ヨット協会)

交流施設だと占有できなくなる。

(県連)

交流室だと占有使用が出来るかどうか。そこだけでしょ。

(E Y C)

大会運営室だけで、残せばいいのではないか。

(設計者)

会議室をやめて大会運営室とし。括弧をとって大会運営室とすればよい。

県庁さんがだめだ。

(県連)

逆に交流室で括弧して会議室ではどうか？

(砂防海岸課 )

単にホールではだめなのか。

(設計者)

会議室以外ならなんでもいい。一応確認申請上はどの名前を使っても大丈夫です。設計仕様が照度・音などが会議室仕様になってきちゃうので、重装備になっちゃう。

(砂防海岸課)

会議室以外なら何でも良いのですか？

(藤沢土木)

実際会議室といっても他が重なった場合1階で収容できない場合は2階でとなっていますから、大会運営室という名前が出来れば、一番いいかなと思う。

(設計者)

藤沢土木の意見は大会運営室という意見です。

(県連)

大会運営室兼括弧してホールとしたらよい。

(砂防海岸課)

どうことが問題になっているのか今わからない。別の視点で考えたい。

(司会)

利用の意味から考えて会議室でも使いたい、ホールとしても使いたい。普段の会議の時はパーテーションで区切って使いたい。そんなイメージですね。ネーミングは大会運営室あるいはホール又は交流スペースとかいろいろでくるが。

(砂防海岸課)

どうことが問題になっているのか今わからない。会議室の仕様じゃない形にしていて後で会議室として使用しているとだめだと言われる可能性はないですか？

(設計者)

それは無いです。大丈夫です。

(県連)

ほとんど会議室というより大会の運営に使うから、専属的に会議やるっていう事はほとんどない。

(設計者)

だから300人規模の会議やるならこちらを使ってくださいということで。

(司会)

後一点お願いしたいことは、今いった排他独占的に使っちゃうとその時には、有料になりますよというのは頭の中に入れて下さい。

(市ヨット協会)

しつこいようですが、競技団体としては、競技をするための必要な運営管理の必要なスペースを名称はともかくとして、誰が見てもわかるようスペースとして、他の方がみても排他的でなく、あとは指定管理者が管理しやすく混乱しないような気遣いがあればそれでかまわない。ただそういうスペースが、無いと大会は開かれなくなる。会議というスペースはどうしても必要である。

(管理者)

現在のプレハブ側のレース運営室の位置づけが運営室CDEですか？それではミーティングルームの位置づけは、どうなっているのか。

(設計者)

1階の話。これは先ほど説明しましたが、現在も大きな大会になると2階の大会議室を併用して使ったりしているので、行き来がたいへんなので1階にこの規模を下ろしてくれれば、ここで運営もできますねという提案で、出てきている。普段は、ヨットの教室をやったりすることができる。今日もセイラビリティのレベルアップ研修会をやっているのだからこういうところでやればよいのではないか。VIPルームをようするにここに括弧でメモリアルルームと書かれちゃっているのだから、現在の2階のメモリアルはヨットクラブの写真が張ってあるくらいで、後はヨットクラブの部屋の中に各国のバーゼンがありますが、この部屋を閉鎖するのか、半オープンにするのかどうか、まったく江の島水族館の中の昭和天皇コーナーのようなメモリアルコーナーにするのか、その辺の意味合いを皆さんに意見を伺いたい。

(EYC)

江の島ヨットクラブの〇〇です。後ほどはまた違う立場で話しますが、今の話であえて皆様拠点をどうするか。VIPルームに関して言えば、むしろ今年で10回を迎えますノルウェイフレンドシップのような大会では、大使・閣僚の方が来ている。万が一国賓級の方がいらした場合は、今の江の島ヨットクラブのクラブルームではとても対応できません。あれも宮内庁が少し改善をしてくれましたが、日本のヨットスポットの玄関たる顔である江の島のヨットハーバーのVIPルームもそれ相応の物であった方がいいと思う。昭和天皇メモリアルルームにしても私は、かまわないと思う。その中に各種の記念品等が飾ってあって、しかるべき方が来たらそこに通す。スポーツの世界では必要であると考えます。それは、断れば誰でも見られるようにしたらどうか。

(設計者)

断りして入る。自由に出入りするのは違う。

今の意見と違う意見はありますか？

(CR利用者)

今の話はVIPというのは今までに年に何回位くるのですか？

(CR利用者)

どこまでをVIPとするのか？

(EYC)

各国大使は、VIPで、市長はともかく、県知事クラスは、VIPと私は認識している。もし違ったら言ってください。

(EYC)

年に何回使うかどうかでなく、そういう方たちが見えたときに対応できる部屋があるかどうか、大事じゃないかと思います。

(CR利用者)

大きい部屋でよいのではないか。

(EYC)

今のクラブルームより大きいですか。

(設計者)

70㎡だから今よりちょっと大きいくらいです。いまは65㎡くらいです。大会議室は、今と同じ広さです。

(EYC)

メモリアルルームを大きくすると、大会議室が小さくなりませんか？

(設計者)

プログラム上大会議室は今と同じになっています。面積の取り方だから、ロビーホワイエを狭くして、VIPルーム広げることは可能です。全体の大きさだけ押さえられている。全体を超えなければよい。

(EYC)

利用する方はVIPと想定していますが、限られた人だけでなく、江ノ島ヨットハーバーを代表するような大会があった時に表彰式をVIPルームでやれば非常に格式も高くなり、限られた人たちだけの部屋だけでなく大会運営にも利用できる。利用価値が高いとことを認識していますし、ここで使えるハイレベルな気持ちにもなる。メモリアルを拡充した方がこの新しいヨットハウスのある意味中心になるし、大変すばらしい物になるのではないか。

(県連)

今2階は江ノ島ヨットクラブが占有しているクラブルームがありますが、既得

権としてメンバーとしてここを使わせてくれとはっきり言うのか言わないのか。そういうのをいらないというのか？どうするのか？

(E Y C)

是非江の島ヨットクラブの占有としてキープしたい。というのは2階も含め図面を見ると、さっきも言ったが海面調整が数年前は参加団体がこの海域で140から150だったが、現在は180でなんだかんだ足して200をこえる団体がこの海域でイベントを開催している。全日本クラスの大会が10以上あります。延にして2万人位のセーラーたちがここに集っていますが、だんだん増えています。いろいろな意味で増えてきている。それに対してこの施設は、圧倒的に土日祭日に関しては足りない。ここは、ある意味日本の中心で、ヨットレースの関東エリアの中心地です。葉山から江の島までしかないが、今この8海面でフルに使っている。それに付随してこの建物や施設を使う訳ですが、実際今使っているのは、大会議室を中心に4部屋である。それでももちろん足りないのでどうしているかという、1つはレストランテラスカイを表彰式で使う。さらにもう1つVIPルーム大会の役員の控え室として当然使用している。それでも足りない。どうしているかというテラスカイを使っている。あと県連の部屋の前を使う。スキッパーミーティングあるいは帰着で使う。江の島ヨットクラブの部屋の前も使っている。そういうふうに補完しながら使っているので、どうやってこれから補完できるかなと考えていたのですが、少なくとも6つ以上のエリアがないと補完できない。これからその隣に教育のための施設も計画されているのでその中でいれてもらおうと思いますが、VIPルームもいろんな意味で補完しているわけです。今年もレース運営の控え室や大会数日前から大事な物を1週間くらい前からそこで置くなどしたりして、大きな大会の時は1週間2週間わたって使うので補完し合う為にもまた、江の島ヨットクラブとしてキープしたい。あの中に歴史的ないろいろ世界中のクラブと交流の証でもあるフラッグ・オリンピックに関する物等ありますので、残してもらいたい。今後も占有料をはらって使わせたい。

(設計者)

管理と言うことですか？

占有料を払って独占的にという事ですね。

(E Y C)

そうです。管理です。

(市ヨット協会)

大会運営室のそのエリアを公益法人としてオープンスペースというようなエリ

アなのですよね。入りたい人は、入れるように。反対である。今のコメントだと、その趣旨にあわない。先ほどから言うように社団としてトータルでいくとE Y Cがまた逆に不特定多数の人に奉仕する社団法人としてメンバーオンリーにならないなら賛成です。

(設計者)

イメージに関しては分かりましたので、細かな今後のソフトについてはこれかの協議という事で。設計のイメージとしては、大方分かりました。

(司会)

普段オープンにしないとか

運用面についてもいろいろご意見いただきましたが、普段はオープンにしたいとか。

(E Y C)

〇〇さんお願いしたいのですがどうですか。提案含めお願いします。

(E Y C)

今回はN P O E Y Hの立場で申し上げます。

お手元にお配りした資料はまだ中間案でございます。さまざまな異論がござい  
ますが、大きな流れとしてN P OのE Y Hとしてこういう形で物事を提案して  
提案の形で県議会を通じて県庁に提案しようと考えています。なにを言わんと  
しているのかというと、今まではさけてきましたが、活動拠点の話をしたい。  
現在のハーバー事務所があるヨットハウスが西側に移転をした場合、船具倉庫  
のあるこの部分を海上保安庁の施設がこのあたりに出来るという事も含めてど  
う考えていくかという事です。設計者さんとしては、もともとある機能につい  
て補完する意味で船具ロッカーの話がありました。既存の機能について説明し  
てもらいました。もう1つ重要だと思うことは、ヨット独りよがりにならない  
事が必要かと思う。江の島は、奈良時代の前から信仰の対象地として生きてき  
た土地ですから、江の島に住んでいる方たちは独特の感覚をもっている。し  
ゃる。オリンピックの時に施設ができて、日本の冠たるヨットハーバーにな  
りましたけれども、中ではまだヨットだけじゃないのと思っていると思う。江  
の島全体で江の島というコミュニティーゾーンにおける、この部分はスポー  
ツ・教育特に海洋スポーツの施設としてしっかりとした機能を持つべきだ。成  
り立たせた上での話しになりますが。市民の方はわかりやすいことと思いま  
すが、ここは、湘南地域の防災拠点となり得ます。救援物質をのせた数千トンの  
船が陸揚げできる場所はこの辺りではここしかありません。加味した上でヨッ  
トをやる人間はどう考えるのか。ここにハザードマップがありますが、その地  
点で地震や津波・大雨があった時にどのような被害が出るか予想されています。

地震・津波・大災害があっても生き残れるコンクリート製の耐震性のデッキを作ってそこに私たちが必要とします日常のヨットに必要な物入れるロッカーを公に作ります。お金のない県連のためには作ってもらう。後はここに入りたい団体は自分たちのお金で建てて頂く。この拠点的な災害で生き残れる施設にたいして建物をプラグインしてく形で使用権を認めほしい。使っている間だけ許される使用権を認めていただけないか。新しいヨットハウスと海上保安庁の施設と今回の間の敷地で、陸揚げされた救援物質の積み下ろしを行い荷物の整理をする。開かれたヨットハーバーとして、ここまで入っていただいてスポーツを見ていただいたり、海をながめていただいたり市民のための拠点施設があってもいい。津波に流されない拠点作りがあれば、島全体に役立ち、島民・市民・県民の理解を得られやすい。公共性・公益性とコミュニティー性のバランスをどこでとるか。EYCは自分で作り、EYCはハーバーの中でさまざまな団体がいがみ合っていますが、主張があるので相手を認めにくい。入ってきたい団体は使用権を認める。その時にどの団体をいれるかはハーバー全体の運営組織の中の民間で判断してもらい、なぎさパークから県へ上げてもらうこれが開かれた施設となる。提案はこれを作ってほしい。この中には水と電気がある一定の間隔で取り出せるようにする。それぞれが取り出すが、どれだけかかるかは別とする。

NPO法人として概念だけご提案させて頂いた。こういう事をする事によって江ノ島のありようが一般市民の中に入っていくやすくなると思う。たぶん江の島のありようが明快に一般市民の中に入っていくクルーザー機能を確保します。数少ないデンギーとクルーザーのハーバーとなる。

(市ヨット協会)

土木事務所大変でしょうが、港湾という面でいったら、みんな施設入れるのは可能なのです、ただし教育施設スポーツ施設といった別のセクターの話。NPOなり公益法人なりが新しい手法で、新しく解決しなければいけないのですが、大事なお金を使ってして取り組んでください。

(司会)

確かに県の中でもいろいろな立場・組織がありますので、万全ではありませんが、その辺はご理解いただきたいと思います。その他2階スペース・船具庫に対するご意見ありませんか。

(小田急)

2階の話が一段落したので船具倉庫の話にしますが、小田急ヨットクラブの〇〇です。船具ロッカーという図面上に倉庫というのがありますが、これはジュ

ニアの皆さんが入られるのだと思っていましたので、もし入るのであれば、申し上げなければならないことがあります。小田急ヨットクラブではアクタスという重いヨットを多数抱えています。実は皆さん知らないかも知れないが、年間3千艇、中に入れさせて頂いています。トラクターで牽引往復しますと6千回になります。ジュニアさんが倉庫にはいりますと接触事故が起きるケース（可能性）が増してしまう恐れがあります。いま広大なエリアを大会とかで行き来し、ジュニアに入らない妹弟さんたちが遊美回っていると想定すると危険です。今テラスを考えると心配です。

（設計者）

今計画が変わりましてこちらの倉庫にジュニアは、入りません。

（小田急）

そうでしたら大丈夫でございます。ただ搬入路がサブエントランスとうことですが、母屋との間でなく、先に搬入路を作っていただくと、船具ロッカーをエントランス分左にずらしていただければ、工事側も一般の方も通りやすくスロープに対して1本の道になって安全性が増すと思います。事故を未然に防ぐ意味でご考慮いただきたいと思います。

（設計者）

この図面をみていただくとわかると思いますが、こちらを壊したあとで作る予定です。出来るまでの間、多少時間の間母屋との間の行き来がある。

（小田急）

船具倉庫は他の人が出入りするのではないのですから、縦長にしてもらうとかで何とかならないか？船具ロッカーに用事がある方と母屋とに行き来することになる。

（設計者）

半年の間は、船具倉庫と母屋の間になると思います。

（小田急）

船具倉庫と母屋の間を外の車も通されるので、言いたいのは、事故を未然に防ぎたい。

（司会）

工事ヤードは大変危険ですので、このようになると思います。考慮したいと思います。

（県連）

直接関係しない話になりますが、今雰囲気が良いので、良い物が出来ると思います。期待していますのでよろしくお願いします。

（司会）

そろそろ時間なので、ほかに何かありますでしょうか？

( CR利用者 )

私自身は、一般なので、一般のセーラーとしては、一般のスペースをこれ以上減らさないでください。スペースがとられそうで心配です。

(設計者)

ほぼ、お手元の図面通りになると思いますので大丈夫です。

(司会)

わかりました。12時になりましたので、これで終わりたいと思います。お忙しい中ありがとうございます。今後の設計に入っていきたいと思います。

どうもありがとうございました。